

東近江発

個別最適

な学び

は寺子屋

から

— 往来物を手がかりに —



先祖代々、村人の子どものための教育を務めとし、心が清らか・潔白で、無口であることを信条とした。

些細なことにこだわらず、まことで役に立つ教育を重んじた。

村中の子どもが入門し、立派な人物はみなその弟子である。

寺子屋時習齋6代齋主中村義芳(1809~1891)の顕彰碑より



しゅんじゅん
あはれ
おは

あはれ
おは
あはれ
おは

令和5年 7月15日(土)~8月31日(木)

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

開館時間:午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

会期中の休館日:毎週月曜日(7/17は開館)、7/18(火)

入館料/大人300(250)円、小中学生150(100)円 ※()内は20名以上の団体料金

上『女読書日用文覧』享保17(1732)刊
中『小手本』『小篇手本控』
下『万世用文重習字使』延享元(1744)刊

共催

びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部

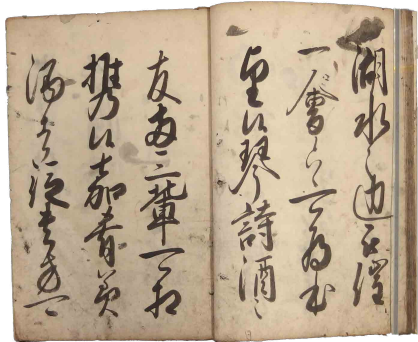
東近江発

個別最適な**学び**は**寺子屋**から

—往来物を手がかりに—



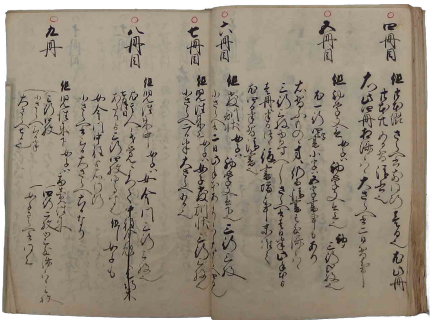
『万世用文童習字便』延享元(1744)刊



『児往来』延享2(1745)授与
男子中級のテキスト



『商売往来』



「覚」『小篇手本控』所収
テキストと学習過程

当館は、江戸時代に東近江市の五個荘地域にあった寺子屋時習齋の蔵書(市指定文化財)約1600点を所蔵しています。本展では、びわこ学院大学准教授和田充弘氏が、時習齋蔵書の往来物を調査研究した成果を、びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部と共催で展示します。

江戸時代の寺子屋で使用されていた習字や書簡文例などの初級テキストを往来物といえます。それらを体系的に見ることと、当地域の寺子屋学習の実態が明らかになりました。一人ひとりの資質や学習段階にあわせて行われていた寺子屋の個別学習。時習齋の多様な往来物とともに、伸びやかに見える寺子屋学習の中に、明確に備わっていた指導計画や教育理念をご紹介します。

本展の開催にあたり、びわこ学院大学教育福祉学部学生の方がたにイラストを添えていただくなど、ご協力いただきました。



関連イベント

東近江学第2回

「東近江の教育文化遺産をたずねて-寺子屋時習齋のテキストを中心に-」

8月6日(日) 13時30分から15時

場所：てんびんの里文化学習センター ホールあじさい

講師：びわこ学院大学准教授 和田充弘氏 参加費：300円 ※要予約

中路融人記念館で同時開催

7月8日(土)～8月27日(日)

師と弟子のものがたり 中路融人×今村市良展



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134

URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始(臨時休館あり)
- 入館料 大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金
- 交通機関 ・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分

- ・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
- ・神名高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

